

たつごう



期待膨らむ入学式

(赤徳小中学校入学式)

4月6日は町内の各小中学校で入学式がありました。新一年生はこれからの学校生活を思い楽しみで仕方が無い様子。期待と不安を胸に大きな一歩を踏み出しました。

(16～17ページに小学校の写真特集)

4月号の主な内容

平成28年度「施政方針」・・・P2

議会だより・・・P4～

お知らせ・・・P10

玉黄金・・・P12

平成28年度

施政方針

(抜粋して掲載)



町長 徳田康光

はじめに

本日、ここに平成28年第1回龍郷町議会定例会が開催されるにあたり平成28年度の町政運営について、私の所信の一端を申し上げ議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、町政の原点はそこに住む人々が地元を愛し、町民自らがまちづくりに参画し、「住んでみたい」、「住んで良かった」と実感できるまちづくりが大事だと考えております。また、将来に向かって龍郷町が発展し続けるために、町民一人ひとりが「しあわせ感」を感じる魅力あるまちづくりを推進しなければならぬと考えております。

減事業については、成田・奄美間のLCC(バンライエア)の就航の相乗効果もあって、奄美への入込客が増加し、地域経済への波及効果が見られたところであります。

また、奄美・琉球諸島の国立公園指定及び世界自然遺産登録に向けた取り組みについては、関係する国・県・市町村と連携し、本町でも自然環境保全に努めながら、かつ奄美自然観察の森の再整備等を含めた、観光振興計画の策定や、今後増えることが予想される海外からの観光客等に対応できる外国語に熟知した職員の配置などに取り組んでまいります。

平成28年度の町政運営にあたりましては、引き続き第5次龍郷町総合振興計画に基づいて、「歴史と文化をつむぎ未来へつなぐまちづくり」の実現に向けて諸施策を展開してまいります。

本町は、亜熱帯性の温暖な気候、広大な海域や森林資源

に恵まれており、これらの自然環境・資源を活用した、農林水産業の振興を引き続き展開してまいります。

現状と町政に臨む

基本方針

平成28年度も、第5次龍郷町総合振興計画の「歴史と文化をつむぎ未来へつなぐまちづくり」を基本理念に、社会情勢の変化や本町の課題である「健全な行財政運営」、「産業活性化対策」、「少子高齢化対策」、「環境保全対策」、「過疎化による地域間対策の解消」等を踏まえ、すべての人が安心して暮らすことの出来る夢と活力ある龍郷町を創ってまいりたいと考えております。

奄美群島振興開発特別措置法では、地域が自らの責任のもと主体的に施策を実行するための交付金制度をはじめとする新たな産業振興施策が盛り込まれ、農林水産物輸送コスト支援事業や航路・航空路運賃軽減事業などが、今年度も継続して実施される予定となっております。航空路運賃軽

地域資源を生かした

産業を創造するまちづくり

本町は、亜熱帯性の温暖な気候、広大な海域や森林資源

に恵まれており、これらの自然環境・資源を活用した、農林水産業の振興を引き続き展開してまいります。

農業につきましては、農家の高齢化に伴う担い手の確保、耕作放棄地の解消などが緊急の課題となっておりますが、地域の特徴を生かした安心・安全な農産物を安定的に生産できる農業を目指し、魅力を感じる産業にしなければなりません。

そのため、集落・地域において「人と農地の問題」について話し合いを進めながら「人・農地プラン」を策定し、新規就農者の確保に努めるとともに、農地の有効利用を図るため農地中間管理機構など関係機関と連携しながら、遊休農地の解消や担い手等への農地の利用集積に努めます。

また、奄美・琉球諸島の世界自然遺産登録に向けた取り組みとして、奄美自然観察の森を含む龍郷町観光振興計画を作成し計画に沿った施設の整備を行うとともに、世界自然遺産登録による観光客の増

本場大島紬 (龍郷柄)



加への対応と、自然環境の保全の両立を目指したエコツーリズムを推進します。また、先般、奄美市と連携して「ふるさと名物応援宣言」を発表し、本場奄美大島紬と奄美黒糖焼酎という地域資源の販路拡大など、国をはじめとする関係機関と連携しながら、地域を挙げて応援する環境を整備しました。今後は本場奄美大島紬を、誇るべきJAPANAブランドとして、海外に向けて発信するなど、ブランド力の強化に向けて取り組んでまいります。

健康・福祉のまちづくり

健康づくりを推進するため健康増進法に基づき年度に、健康増進法に基づき策定された「健康たつごう21」を指針として、町民の健康づくりを推進してまいります。

また、平成30年度から、国保の運営主体は県となりま。各市町村の総医療費等によって分賦金を納める、保険料率に格差を設ける方向が示されています。今後とも、健康づくり意識の高揚を図るなどの活動や医療費適正化事業を実施して、健全な運営に努めてまいります。

快適な生活環境で ゆとりあるまちづくり

快適な生活環境の整備を進めるため、生活に欠かすことの出来ない、安全で安定した水の供給は必要不可欠であります。そのため現在進めています。龍南地区簡易水道基幹改良事業と荒場地簡易水道統合事業を継続実施し、配水管布設替え及び給水工事を実

施します。町内の水道施設の老朽化に伴い漏水が予測されている地区に関しては、改修工事を実施してまいります。また、大美川河川改修工事に伴いアヒン橋送配水管布設替工事を実施してまいります。

豊かな心を育む教育と歴史と 文化が薫るまちづくり

近年、国際化・情報化・少子高齢化の進行、生産人口の減少、さらには、経済環境の変化、価値観の多様化など、かつてないほどの急激な変化がみられます。教育界においては、これらのめまぐるしい時代に対応した教育のあり方が求められており、そのような状況の下、教育基本法の改正など大きな潮流を踏まえながら本町の教育課題に向き合い、主体的・創造的に生き抜いていく力を育てていくことが強く求められています。

学校教育・社会教育・家庭教育・文化の振興・文化財の保護活用・スポーツの振興の推進にあたって、学校・家庭・地域社会がそれぞれ役割を果たしながら一層の協力と連

携を図り取り組んでまいります。



人がふれあひ個性が輝く 交流・連携のまちづくり

今年、作曲家渡久地政信先生の生誕100周年を迎えます。渡久地先生は5歳の時に沖繩から龍郷町に移住され、少年期から青年期を過ごされました。出生地である沖繩県恩納村では日本歌謡史に残した偉大な功績を称え名誉村民となっております。今年、生誕100周年の記念式典が予定されるようです。これを機に、渡久地先生の出生地である沖繩県恩納村との交流を深めてまいりたいと考えており

ます。

効率的な行財政運営で 共に創るまちづくり

町が保有する公共施設については、老朽化が進んでおり、厳しい財政状況が続く中、多額の維持補修や更新費用が必要となることが予測されています。今後、人口減少や人口構成の変化等に伴い、公共施設等の利用需要が変化することが予想され、長期的視点で公共施設等の更新・統廃合・長寿命化など、総合的かつ計画的に行う必要があります。このようなことから平成28年度に「公共施設等総合管理計画」を策定し、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設等の最適配置の実現に取り組んでまいります。

結び

今後とも、第5次龍郷町総合振興計画の基本理念である「歴史と文化をつむぎ未来へつなぐまちづくり」を目指す施策を推進し、私たちのまち「たつごう」を魅力あるまちに創り上げてまいりたいと思

いますので、議員の皆様をはじめ町民の皆様には、引き続き特段のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、平成28年度の施政方針とさせていただきます。

かがんばなトンネルと夕日



平成28年度 乳幼児健診日程表



健康診査では**発育・栄養状態**の確認や、**育児相談**等も行っています。**お子様の健やかな成長のための大切な健診**です。
必ず受診するようにしましょう!!

※対象のお子様は、日程が近くなりましたら、郵送または母子保健推進員から個別の案内が届きます。

※9～11か月健診は小児科で公費受診券を持参のうえ受診してください。

乳児健診

実施月日	受付時間	対象児
4月14日 (木)	12:30～	H27.11.26～H28.1.14(3～4か月) H27.8.26～H27.10.14(6～7か月)
6月23日 (木)	12:30～	H28.1.15～H28.3.23(3～5か月) H27.10.15～H27.12.23(6～8か月)
8月25日 (木)	12:30～	H28.3.24～H28.5.25(3～5か月) H27.12.24～H28.2.25(6～8か月)
10月27日 (木)	12:30～	H28.5.26～H28.7.27(3～4か月) H28.2.26～H28.4.27(6～7か月)
12月8日 (木)	12:30～	H28.7.28～H28.9.8(3～4か月) H28.4.28～H28.6.8(6～7か月)
2月23日 (木)	12:30～	H28.9.9～H28.11.23(3～5か月) H28.6.9～H28.8.23(6～8か月)

2歳6か月児・5歳児歯科健診

実施月日	受付時間	対象児
4月28日 (木)	13:00～	H25.8.29～H25.10.28(2歳6か月～2歳7か月) H23.1.29～H23.4.28(5歳～5歳2か月)
7月28日 (木)	13:00～	H25.10.29～H25.12.28(2歳7か月～2歳8か月) H23.4.29～H23.7.28(5歳～5歳2か月)
9月29日 (木)	13:00～	H25.12.29～H26.3.29(2歳6か月～2歳9か月) H23.7.29～H23.9.29(5歳～5歳2か月)
11月24日 (木)	13:00～	H26.3.30～H26.5.24(2歳6か月～2歳7か月) H22.9.30～H22.11.24(5歳～5歳1か月)
1月26日 (木)	13:00～	H26.5.25～H26.8.26(2歳5か月～2歳8か月) H23.11.25～H24.1.26(5歳～5歳2か月)

1歳6か月児健診

実施月日	受付時間	対象児
6月9日 (木)	13:00～	H26.9.4～H26.12.9(1歳6か月～1歳9か月)
9月1日 (木)	13:00～	H26.12.10～H27.3.1(1歳6か月～1歳8か月)
12月1日 (木)	13:00～	H27.3.2～H27.6.1(1歳6か月～1歳8か月)
3月2日 (木)	13:00～	H27.6.2～H27.9.2(1歳6か月～1歳9か月)

1歳児・4歳児・母子歯科相談

実施月日	受付時間	対象児
5月18日 (水)	13:30～	H27.3.17～H27.5.18(1歳～1歳2か月) H24.3.17～H24.5.18(4歳～4歳2か月)
7月13日 (水)	13:30～	H27.5.19～H27.7.13(1歳～1歳1か月) H24.5.19～H24.7.13(4歳～4歳1か月)
9月21日 (水)	13:30～	H27.7.14～H27.9.21(1歳～1歳2か月) H24.7.14～H24.9.21(4歳～4歳2か月)
11月9日 (水)	13:30～	H27.9.22～H27.11.9(1歳～1歳1か月) H24.9.22～H24.11.9(4歳～4歳1か月)
1月11日 (水)	13:30～	H27.11.10～H28.1.11(1歳～1歳2か月) H24.11.10～H25.1.11(4歳～4歳2か月)
3月22日 (水)	13:30～	H28.1.12～H28.3.22(1歳～1歳2か月) H25.1.12～H25.3.22(4歳～4歳2か月)

3歳児健診

実施月日	受付時間	対象児
5月11日 (水)	13:00～	H24.9.5～H24.11.11(3歳6か月～3歳8か月)
8月4日 (木)	13:00～	H24.11.12～H25.2.4(3歳6か月～3歳8か月)
10月13日 (木)	13:00～	H25.2.5～H25.5.13(3歳5か月～3歳8か月)
2月2日 (木)	13:00～	H25.5.14～H25.9.2(3歳5か月～3歳8か月)

乳幼児健診内容

☆内科診察 ☆歯科診察 ☆身体計測 ☆栄養相談
☆むし歯予防処置(フッ素塗布)等の実施

【受付時間】 個別案内で確認

【場所】 龍郷町保健福祉センター 2階

【料金】 無料

保育所巡回相談について

年2回、町内6か所の保育所を巡回して相談事業を実施しています。お子さまのことで気になることがありましたら、保育所へもご相談ください。

母子歯科相談について



歯科衛生士による歯の点検やフッ素塗布を行います。上記以外のお子様については文書での案内はありませんが、**希望されるお子様はどなたでも受診可能**です。健診日が近くなりましたら、防災無線で案内しますので、ぜひお越し下さい。

1回のフッ素塗布で3～4か月間効果が持続します。

ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ先> 保健福祉課 電話 62-3111

龍郷町 議会だより

発行 / 龍郷町議会
編集 / 議会だより編集委員会
〒894-0192
大島郡龍郷町浦110番地
TEL 0997-62-0111 (内線155)
FAX 0997-62-2535



平成28年第1回龍郷町議会定例会では、町議と町当局全員が大島紬姿で登壇しました。議員の紬着用は慣例となっていますが、今回は徳田康光町長の提案で当局側も初めて全員が紬姿となりました。「龍郷栢」「秋名バラ」発祥の地として、基幹産業である大島紬の振興をアピールしました。

第170号

平成28年第1回定例会

- ・一般質問（9名が登壇）・・・・・・・・ 6～14ページ
- ・議決結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 15ページ



窪田 圭喜 議員

荒波地区の活性化について

問

定住促進条例の策定は。

答(町長)

昨年12月議会で今回の議会で議案として上程すると答弁いたしました。条例の制定はせず「地域活力創出事業」の中で対応したいと思っております。すでに荒波地区活性化委員会が組織され活動していると聞いておりますので、その委員会を活用されて事業を申請していただくことになると思いますのでご理解ください。

問

空き家、空き地、空き施設の活用は。

答(町長)

空き家の活用については、龍郷町空き家情報登録制度を平成23年12月から施行しております。この制度は、町内における空き家の有効活用と定住促進による地域の活性化を図るため、町内に存する空き家の登録を通して、希望者に対し、

情報提供を行っております。廃屋化している空き家の対策につきましては、特別措置法も施行されており、危険家屋の除去については、今後関連する条例を制定するなど適正管理に関する計画を検討してまいります。

問

古い空き家の教員住宅の再利用は。

答(教育長)

空き家の教員住宅は円と幾里にあります。円の住宅につきまして、老朽化のため解体を予定しております。幾里の住宅は昭和46年築で

老朽化もあり、耐震強度検査も適さず住宅としては利用できません。

問

遊休、休耕農地の活用は。

答(町長)

龍郷町内全域において課題となっておりますが、秋名、幾里、龍郷集落におきましては、稲作やマコモ栽培が行われており、地域資源を活かした農業は大切に守っていく必要があると考えております。そのためには、今後田袋を活用した農



秋名田袋のマコモ栽培

業体験ができる農園整備など、荒波地区活性化委員会とも連携を図りながら、取り組んでまいりたいと考えております。

問

秋名小学校、円小学校の学童保育について。

答(町民税務課長)

保護者が希望した場合や荒波活性化委員会からの要望も含めて、予算などのこともありますので、今後検討課題とさせていただきます。

農業振興について

問

ミカンコミバエ関連の今後の取り組みについて。

答(町長)

これから夏場に向けての取り組みといたしまして、農林水産省植物防疫所では、特定移動制限区域の縮小に伴う移動検査などについての説明会を、4月22日

に秋名コミュニティセンター、浦生活館で行う予定となっておりますので、ご理解を賜りたいと思っております。

問

処分後の事務手続きの遅れについて。

答(産業振興課長)

あまみ農協や青果市場などの売り上げ伝票がある方は、早めに単価の決定ができましたが、個人販売の農家の場合、必要書類不足のため、大島支庁の指導もあり遅くなりました。

問

スモモ、マンゴーの出荷解禁日は。

答(産業振興課長)

スモモの基準日が2月22日、マンゴーが6月14日ですが、それぞれ収穫日までには誘殺が0匹であれば出荷は可能です。



田畑 浩 議員

健児保育園の現状について

問

新聞などで健児保育園について大きく報道されているが、現状はどのようなになっているのか。

答（町長）

県の指導監査の結果、不適切な経理があったという旨の記事が新聞に掲載されているところ。健児保育園は昨年4月から入所定員を150名に増やし、島育ち館隣接地に移転後、新築開園していたところで、今回保護者の皆さんに不安を与えるような事象が発生し、大変残念に思っているところ。現在県の監査結果に基づき、事務処理上疑義があった事項の経緯な



児童福祉に貢献している健児保育園

どについて報告が求められていると聞いており、今後は理事会が指摘事項の改善策を講じながら健全な法人運営に向けて努力することとなっています。

健児保育園は社会福祉法人として、これまで本町の児童福祉行政に長年貢献していただいている認可保育所であり、今後もその位置づけは変わらないものと考えていますので、町としては、理事会が中心となり社会福祉法人としての認識を

新たに、保護者や施設職員、町民の皆さんから信頼される保育園として健全な経営を図っていただけるようお願いしてまいりたいと思っています。

議員発言

健児保育園は子どもたちと家族、そこで働く職員の方々のものです。一日でも早く子どもたちが安心して過ごせる、笑顔の絶えない保育園になるように願っています。

介護の現状について

問

本町の介護事業の方向性について新聞でも報道されていたが、どのように考えているか。

答（町長）

介護保険制度については、平成12年度に介護を社会全体で支えようと導入され、16年が経過しようとしています。要介護の認定者数は

当初の379名から315名へ減少していますが、給付費は3億2720万円から5億5679万円に増加しています。

今後とも介護や医療の需要はさらに増加すると考えられることから公助の拡充を期待することは難しく、介護予防事業「どうくさ云」などの健康づくり対策や支



町が実施している介護予防活動

え合い活動の普及が重要となっています。国においても、介護保険制度の持続のため、重点化、効率化を行

う制度改正も行われました。また、いつまでも高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよう、地域包括ケアの理念である介護医療、予防、生活支援が連携して、一体的に提供されるよう各種取り組みを総合的に推進していきたいと思っています。

議員発言

認定されるのが遅く、もっと早く認定されていればいろいろなサービスや治療が受けられたのではないかと憤っている家族もいます。町の支出が少ないことにしたことではないですが、本当に介護を必要としている人にきちんと使われていないのであれば問題であり、改めるよう要請します。



碓山 幾郎 議員

施政方針より

問

龍郷町創生総合戦略にも記載されている本町の人口対策について。

答(町長)

本町の人口は5809人となっており、人口減少が進行している状況にあります。そうした状況を踏まえて総合戦略においては、人口減少の主たる要因を地域経済の低迷にあると捉えており、「町内で稼ぐ人材・企業を増やす」ことによって、人口減少に歯止めをかけるとしております。

そのために、地域資源を活用した外貨の獲得や、新規事業の創出、観光産業や伝統産業の担い手となる人

材の育成などの分野で、行政と民間が協働し、かつ、市町村の枠を越えて広域的な連携をすることで、雇用の創出と地域経済の振興を実現し、人口減少に歯止めをかけたいと考えております。

問

単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えについて。

答(町長)

本年度より合併処理浄化槽設置工事業者指定制度を実施しております。業者の自主的な営業活動による工事の受注も可能となり、申請から完成までがよりスピードアップし、設置基數も計画より8基上回っております。現在、町においては防災行政無線での普及啓発活動を実施しております。

問

渡久地政信氏出身地の沖繩県恩納村との交流の具対策について。

答(町長)

渡久地先生は、5歳の時に本町に移り住み、青年期にかけて過ごされました。平成14年に渡久地先生の顕彰碑と島のブルースの歌碑



町内にある渡久地政信氏の関連碑

を建立しております。

昨年11月に恩納村に赴いた際に、村長や議会議長をはじめ、関係各課長の皆さんと意見交換をした中で、渡久地先生の生誕100周年記念式典開催のほか、民間を含めた幅広い交流ができないかと話題になりました。

た。具体的な実施内容については、今後、両町村の担当課で検討を進めたいと考えております。

問

人事評価制度について。

答(町長)

地方公務員法の改正を受け、本町でも試行的に導入しておりますが、手探りの状況の中ですので、目標設定、評価にばらつきがないよう、今後研修会などを通して制度の充実を図り、職員の資質の向上、組織全体の士気高揚につなげていきたいと考えております。

問

税金の滞納対策について。

答(町長)

各種税金や保険料は、納期内自主納付をお願いしておりますが、納期限内に納付されない場合は、督促状の発送、臨戸訪問、電話や文書による催告を行っております。誠意のみられない悪質

遊休農地の解消について

問

本町の遊休農地、耕廃地の現状について。

答(町長)

町の遊休農地、耕廃地の現状は、農家の高齢化による担い手不足により、耕作面積は減少している状況で、平成26年度耕地面積は743畝、その内、耕作放棄地面積は184畝で24.76パーセントです。なお、農振農用地区域内面積は89畝となっております。



中原 正栄 議員

地域資源を生かした産業を創造するまちづくりについて

問 安全な農産物を安定的に生産できる農業を目指す、その政策は。

答(町長)

農業の基本は土づくりであるという観点から、堆肥購入の助成と、近年、生産量が減少しているさとうきびの生産回復を図るため平成28年度から肥料購入の補助も実施してまいります。

問

ミカンコミバエの根絶に向けた今後の展開は。

答(町長)

週2回のトラップ調査や毎月行うテックス板の取り付け作業、また果実調査など地域住民のご理解とご協

力をいただきながら取り組んでまいります。



ミカンコミバエを誘殺するテックス板

問

松枯れ対策、駆除より倒損木の対策が必要では。

答(町長)

伐採除去を随時行っておりますが、今後も危険箇所を把握しながら九州電力、NITなど関係機関と連携を図り通行に支障がないよう対処してまいります。

快適な生活環境でゆとりあるまちづくりについて

問

地域での救命活動を行うファーストレスポonder隊



本町に発足されたファーストレスポonder隊

が発足された。その活動には、AEDの集落配置が急務では。

答(町長)

現在町内には30基のAEDが配置されています。今後は消防分署から離れている集落から順次配置してまいります。

豊かな心を育む教育と歴史と文化が薫るまちづくりについて

問

赤徳小中学校教員住宅のシロアリの駆除がまだ予

算の執行がされていないがなぜか。

答(教育長)

シロアリの駆除を行う予定でしたが被害が激しく高額な改修費となるため、検討の末、建て替えの方向で進めているため予算の執行がされていない状況です。

問

ウフタ遺跡の葺き替えが計画されているが、どの規模で修復されるのか。



葺き替え予定のウフタ遺跡

答(教育長)

修復は屋根の骨組みや、茅の葺き替えを予定しております。修復後については学校やPTA関係者で維持管理に取り組んでいただきたいと考えています。

人がふれあい個性が輝く交流・連携のまちづくりについて

問

地方創生事業での地域経済の発展は、策定された戦略で全町民がうるおいを実感できる事業で推進されなければならぬと考えるが。

答(町長)

国から示された具体的な施策の中から、町民の意見と助言をいただき創生総合戦略を策定しました。本町の事業として「秋名・幾里魅力化プロジェクト」を申請し荒波の活性化を図ってまいります。



平岡 馨 議員

施政方針について

問

基本方針の中での観光振興計画の策定とは、具体的にどのようなものか伺いたい。

答(町長)

今後の奄美・琉球諸島の国立公園指定、及び世界自然遺産登録も見据えた、観光振興に関する内容についての計画を策定するもので、その計画を基に県や国への要望などを行ってまいります。

問

海外からの観光客が増えることが予想されるが、その対応や職員の配置は。

答(町長)

現在英語に対応できる職

員がおり、平成28年度新規採用予定職員の中にも英語に長けている者がおります。韓国語や中国語などへの対応も必要であると思われ、奄美群島広域事務組合での「奄美群島特例通訳案内士育成事業」の活用が必要だと考えています。



長雲岬から望む龍郷湾

保育行政の在り方について

問

現在の保育士の現状は。

答(町長)

公立の認可保育所2カ所とへき地保育所が3カ所あり、保育士の数は正職員16名、臨時職員11名、計27名です。私立の健児保育園には、常勤・非常勤合わせて28名の保育士が勤務しており、町内の保育士は合計55名です。

問

今後の保育士の採用予定は。

答(町長)

昭和62年の採用を最後に採用がありません。今後5年間で9名の保育士が退職を迎えるため、来年度から採用を考えていきたいと思っています。

問

町内における保育所の適正な運営はなされているのか。

答(町長)

毎年県の指導監査が実施されており、児童福祉など関係法令に基づき監査基

人事評価制度について

問

人事評価制度導入後の成果は。

答(町長)

導入当初で手探りの状況ですので、目標設定、評価にばらつきが見受けられますが、

問

今後研修などを通して制度の充実を図っていききたいと思えます。人材育成専門家による派遣事業による研修などの実施計画はないのか。

答(町長)

昨年10月に県が事業主体となる人材育成等専門家派遣事業が実施され、本町からも2名参加しており、人事評価制度の意義及びその具体的方策についての研修を受けてきました。



町民対応の様子



奄美に寄港する大型クルーズ船



岩崎 晴海 議員

**自然遺産登録に向けた
取り組みについて**

問

自然遺産登録となると外国人観光客が多くなると考えられる。外国語塾などの対策が必要では。

答(町長)

台湾や韓国の都市と奄美

**島育ち産業館及び
周辺の整備計画について**

問

世界自然遺産登録や格安航空会社の就航などで今後、観光客が増えると思われる。島育ち産業館周辺の整備および大勝方面からの見通しが悪いので整備が必要と思うが。

答(町長)

島育ち産業館は本町の中心部に位置し、町の観光振興を図っていく上からも大



本町の中心部に位置する島育ち産業館周辺

**奄美自然観察の森
周辺の整備について**

問

希少動植物が多く、自然観察に優れた地域です。総合振興計画で平成28年度に整備計画が示されているが、周辺の老朽化した遊具や木造の施設の解体、撤去を急ぐべきでは。

答(町長)

老朽化が進み危険箇所がありますが、世界自然遺産登録に向けて平成28年度に自然観察の森を先行的に再整備するための基本計画策定委員会を県と町で立ち上げ、平成29年度から整備を行ってまいります。

答(町長)

建築基準法で耐震基準が引き上げられ、木造家はクリアできる家が少ないことと、耐震性をクリアするには高額の前算が必要で、改修費助成は難しいと思います。

問

空き家を町で整備して貸し出す対策は考えられないか。

空き家対策について

次の定例会は6月中旬を予定しています。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

場所：龍郷町役場2F

当日は受付用紙に住所氏名を記入するだけです。





徳永 義郎 議員

**地域資源を生かした産業を
創造するまちづくりについて**

問

新規就農者の状況と農地集積状況について。

答(町長)

青年就農給付金を受け、4名の方が農業に取り組んでおられます。主要作物として、タンカン・マンゴー・パッションフルーツ・バジルを生産しております。

農地集積については、今年度は2回にわたり、人・農地プランと農地中間管理事業についてのチラシを全戸配布しておりますが、登記や機構への貸付の期間などの問題で思うように集積が進んでいないのが現状です。

問

着地型観光への本町の取り組みは。

答(町長)

自治体と事業所や、地域住民が連携を取りながら取り組む必要があります。着地型観光につながるような取り組みが集落単位で行われてきており、今後はこのような取り組みを観光客向けに発信するための組織作りを推進していきたいと思っています。

**健やかで安心して暮らせる
健康・福祉のまちづくりについて**

問

子育て支援事業として、各保育所を巡回して専門家による相談事業や保護者対象の親子講座、保育士の研修内容は。

答(町長)

発達支援として早期支援が大切とのことで、子どもたちへの適切な関わり方について相談事業を実施して

います。保育士研修は気になる子どもたちへの適切な関わり、保護者への助言療育の施設との連携なども必要です。

**快適な生活環境でゆとり
あるまちづくりについて**

問

ゴミの不法投棄への対策や問題点は。

答(町長)

昨年12月から3回に分けて町内一円の調査を実施し、特定家電や産業廃棄物、自動車など多くの不法投棄を確認しております。これらのゴミは自動車を除き全て回収します。

問

平成30年度の世界自然遺産登録への取り組み状況は。

答(町長)

国、鹿児島・沖縄両県、遺産地域となる市町村や民間団体などからなる各種部会において、準備を進めて

いるところです。また環境省において、奄美群島国立公園の区域案及び公園計画案を作成しているところです。



町内のゴミの不法投棄箇所

**効率的な行政運営で共に
創るまちづくりについて**

問

職員の資質向上への取り組みは。

答(町長)

資質向上のためには「自己啓発」「職場内研修」「職場外研修」という3つが大

切であると感じています。今年度から実施している人事評価制度により、自分を知ることによって、自己啓発につながるものと考えています。

**豊かな心を育む教育と歴史と
文化が薫るまちづくりについて**

問

教育行政について、子どもへの貧困と教育の現状は。

答(教育長)

基準に満たない所得の低い世帯の子どもが6人に1人いると言われています。本町では経済的な格差が生じないように、要保護、主要保護家庭の子どもたちに対し、学用品費・給食費・医療費、全児童生徒に修学旅行費・バス通学の補助事業や奨学資金の貸付を実施しております。各学校においても補助教材は保護者の負担の増加にならないように教育費の助成により負担の軽減を図っております。



伊勢 勝義 議員

漁業振興について

問

観光、漁業振興の拠点として番屋、アダン崎一帯の振興策を考えて欲しい。



屋入から望む番屋、アダン崎

答(町長)

番屋、アダン崎近くの浜辺では、マリッジや

キャンプを楽しむ人々が多

く訪れており、県道沿いの空き地などを駐車場として利用している状況です。番屋先の公共空き地は国の財産となるため、町が駐車場及び東屋等を整備する土地として利用したい旨を国へ報告しているところです。今後、その計画が了承されましたら土地購入の協議を行い、関係機関で振興計画について協議します。

問

龍郷港湾の利用計画は。



補助港としての龍郷港湾

答(町長)

本港は、名瀬港の補助港湾として石材、砂などの積み出し、コンクリート構造物製作所として機能を発揮しており、平成27年度から防舷材の設置を順次行い、港湾施設の維持管理を図りながら利便性の向上につなげます。

連携のまちづくりについて

問

渡久地政信氏関連の恩納村との交流計画、イベントの計画はどのように進めるつもりか。

答(町長)

恩納村との交流については、渡久地先生とのつながりやモズク養殖の技術移譲などの関係から、交流を進めていきたいと考えています。まずは生誕100周年関連のイベントの開催を通じて、行政だけでなく民間レベルの交流も考えており

ます。記念式典の実施内容や具体的な交流計画は、恩納村の担当課と検討してまいります。

中央グラウンド

周辺整備について

問

町行事や各種イベント時の駐車場不足を感じるが、整備計画は無いのか。

答(教育長)

いろいろな行事の開催時において、施設周辺の駐車場を利用してはいますが、駐車場不足を実感しています。今後は、策定された「総合公園整備基本構想」に基づき、将来に向けて用地確保に努めます。当分の間は、中央グラウンドの一部を駐車場として活用していきます。

職員の適正化について

問

定員適正化計画が平成26

年度に終わっているが、今後の増員計画は考えられないか。

答(町長)

平成17年度から平成26年度までの計画は終了し、目標人数である98人は達成できています。

新たに、昨年から平成36年度までの10年間の計画を策定しております。ほぼ横ばいの人数での計画ですが、今後の退職者見込み数を勘案し、複雑、多様化する町民ニーズに最大限の効果をあげることができるよう定員適正化を図ってまいります。



前田 豊成 議員

施政方針より

問

地域資源を生かした産業を創造するまちづくりとあるが、安木屋場には芭蕉の群生地があり、大島紬と合わせての振興策は考えられないか。



原料となるイトバショウ

答(町長)

担い手及び原料となるイトバショウの確保が難しいと考えられますが、まずは糸作りから始めていきたいと考えております。

問

健康、福祉のまちづくりで、町の仕事で軽易な業務などは、シルバー人材センターに任せられないのか。

答(町長)

現在20名の会員の方が従事しております。社会福祉協議会で運営していますが、平成28年度からは保健福祉課へ移行しますので、いろいろなことを検討していきたいと思っております。

生活環境について

問

中勝川の水の濁りが長期間解決されていないが理由は。

答(町長)

事業所の排水によるものと思われませんが、水質汚濁防止法によると1日50ト以上の排水量であれば適用になりませんが、当該事業所はその量に満たないと考えられます。しかし保健所と共に町としても、立ち入り要請をしていきたいと思っております。

行財政運営について

問

ふるさと納税の額が他の市町村に比べて少なく思われるが。



ふるさと納税の返礼品

答(町長)

平成27年12月末で479万円をいただいております、県内においても低い方だと認識しております。今後、返礼品などを工夫し、郷友会の皆様にも協力をお願いしてまいります。

産業振興について

問

地域おこし隊事業の本町の取り組みは。

答(町長)

平成28年度に1名を募集、採用します。9月から秋名、幾里集落に居住してもらい、伝統文化などを発信していただきたいと考えております。

都市再生整備事業について

問

生涯学習センターが建設中だが、その後の公園、浦、赤尾木地区の事業計画はど

のようになるのか。

答(町長)

公園整備は平成28年度に検討会を立ち上げます。浦、赤尾木地区は、土地のかさ上げを検討しておりますが、予算不足が生じ他の事業で解決していきたいと考えております。

健児保育園について

問

町として理事に加わり応援するべきでは。

答(町長)

理事としては難しいですが、評議員会を立ち上げると聞いております。その場合は担当職員が会に加わることを検討したいと思っております。



龍郷小学校

- ・あせち あやめ
- ・いわさき そう
- ・たかはし つむぎ
- ・まるた のえる
- ・もがみ ゆめな



赤徳小学校

- ・かわぐち いちと
- ・かわばた はるとし
- ・くぬぎ まかな
- ・こまき たいと
- ・こんどう ちひろ
- ・さとやま そう
- ・たみや りゅうが
- ・とよやま えいと
- ・なかえ ゆうる
- ・ふじお みのり
- ・ふじた めぐむ
- ・めぐみ こうたろう
- ・よしおか そら
- ・たいら あさ
- ・たなか いちか
- ・みなみ ももか
- ・やまだ こはる



龍瀬小学校

- ・いわきり りゅうせい
- ・いわさき あおい
- ・おく こあ
- ・かわばた はやと
- ・きよた みりあ
- ・さと じゅりあ
- ・たけだ るいと
- ・たばた りんか
- ・にしだ ゆうが
- ・にしだ もか
- ・ひらしま みれい
- ・ひらた みつき
- ・ふくむら りゅうだい



ピカピカの1年生



4月6日(水)、龍郷町内各小学校で平成28年度の入学式が行われました。新しい友だちに囲まれて新しく始まった学校生活。新1年生たちは、ドキドキワクワクしながら、元気よく入学式に臨んでいました。※秋名、円小学校は入学生がいないため省略。

(順不同、敬称略)



戸回小学校

- ・あかつか のぶはる
- ・ふく かいしん
- ・やまぐち たいが
- ・えつ はるひ
- ・まつもと りこ
- ・かない なおしろう
- ・もり あやな



大勝小学校

- ・くぼた りおん
- ・たいし てっしょう
- ・ひさなが さえ
- ・まつい こはる
- ・こおり るあ
- ・たか ゆういちろう
- ・ひろはた ゆうな
- ・まるやま おうしろう
- ・しんじょう けいと
- ・たじま みむ
- ・ふくだ ゆあ
- ・もり ゆりあ
- ・たけやま こうせい
- ・まえだ いおり
- ・やました さくや
- ・なか ゆいな
- ・まえだ こてつ
- ・わたなべ ゆうな
- ・ながしま しんた
- ・まえだ みはな
- ・わたり あいら
- ・はつき ななせ
- ・まきばた きりん

5月の「ぶっくさ会」

高齢者の健康増進を目的として
います。お気軽にご参加ください。
※当日の時間は放送等でご確認ください。

時間・午前9時半
・午後2時
場所・各集落公民館等

午前	10日	11日	18日	19日
	嘉渡	赤尾木	円	中勝

午後	1日	2日	3日	5日	10日	11日	12日	13日
	瀬留	安木屋場	川内	中勝	秋名・幾里	中戸口・円	龍郷	大勝
	14日	15日	16日	17日	18日	19日	24日	26日
	玉里・下戸口	瀬留・安木屋場	浦	上戸口	赤尾木	手広	嘉渡	大勝

国民年金保険料 「後納制度」

過去五年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付することで、将来の年金額を増やすことができる「後納制度」が平成二十七年十月から三年間限りの特例として開始されました。

なお、老齢基礎年金を受給している方は、後納制度の利用はできません。後納制度を利用するには、申し込みが必要です。詳しくは、「国民年金保険料専用ダイヤル」0570・011・050) またはお近くの年金事務所へお問い合わせください。

【お問合せ先】

町民税務課 年金係

☎62-3111(内線131)

奄美大島年金事務所

☎52-4341

平成28年度飼い猫の

避妊・去勢手術費助成について

龍郷町では、希少野生動物(アマミノクロウサギ)保護活動支援事業として、飼い猫の避妊・去勢

手術費一部助成を行います。希望される場合は、申請手続きをお願いします。

▼申込み対象：飼い主が龍郷町在住で、飼い猫登録されているネコ

▼助成額

- ・オス1頭あたり 5000円
- ・メス1頭あたり 1万円

▼公募頭数

・20頭ほど(※公募頭数に達し次第、受付を終了。)

飼い猫の無計画な増殖を防ぐために飼い猫の避妊・去勢手術を推進しております

す。ご理解と

ご協力をどう

ぞよろしくお

願い致します。

【お問合せ先】

生活環境課 ☎69-4525



乳がん検診

検診料金変更のお知らせ

先日お配りした検診日程表にも検診料検討中と記載しております。したが、5月21(土)〜22日(日)に実施を予定しております乳がん検診において料金の変更があります。

したのでお知らせいたします。

▼検診料金

・乳がん1方向(50〜69歳女性)

1500円 ↓ **1000円**

・乳がん2方向(40〜49歳女性)

2000円 ↓ **1500円**

▼女性がん検診(乳がん、子宮頸がん、骨粗しょう症)の日程

・5月21日(土)

秋名コミュニティセンター

・5月22日(日)

浦生活館

▼受付時間は両日共に

・午前8時半〜9時半

・午後13時〜14時

また、今年度より国の方針に合わせ、乳がん検診における視触診の検査はありません。

【お問合せ先】

保健福祉課 ☎69-4514



九州電力から 感電事故防止のお願い

鯉のぼりの季節になりましたが、感電事故防止のため、電線付近での鯉のぼりの掲揚や魚つりは絶対に行わないよう、お願いします。

なお、万一鯉のぼりの掲揚や、釣り糸が電線にかかった場合は、自分で取ろうとせず、お近くの九州電力までご連絡いただきますよう、お願いします。

龍郷町の人口

平成 28 年 3 月末現在

		前月比
世帯数	2,942	-39
人口	5,950	-143
男	2,891	-66
女	3,059	-77

お電話でお問い合わせください

【3月届出】

保護者名 (敬称略)

長 結稔
川口 茜
泉 梨優
下田 杏
横尾 拓海
淳也 大勝
博史 赤尾木
優次郎 玉里
岬平 中勝
伸広 中勝

ごめい福をお祈りいたします

【3月届出】

(敬称略)

香典返しお礼

・肥後竹有さん (故肥後フミエさん)

秋名稲穂会、幾里稲穂会

・隈元巳子さん (故隈元範久さん)

秋名集落、秋名稲穂会、幾里稲穂会、
社会福祉協議会、平瀬マンカイ保存会

・中島五重鈴さん (故山田キダ子さん)

秋名稲穂会

・重田勝治さん (故重田ヒロ子さん)

秋名集落

・川畑ヨリ子さん (故川畑秀則さん)

浦集落、浦老人クラブ、
社会福祉協議会

・宮内智喜雄さん (故宮内ハツ子さん)

愛寿園、社会福祉協議会

・社会福祉協議会

・辺木智江さん (故辺木次雄さん)

【社会福祉協議会】

・辺木智江さん (故辺木次雄さん)

※行事は変更になる場合があります。あらかじめご確認ください。

5月行事予定表

日	行事名等	時間	場所
6 (金)	でいでいクラブ	13:30~	どうくさあや館
11 (水)	3歳児健診	13:00~	
13 (金)	かめのこクラブ	10:00~	
	でいでいクラブ	13:30~	
15 (日)	龍郷町一般バレーボール大会	8:30~	りゅうゆう館
17 (火)	じゃがいも会	13:30~	赤尾木地区
18 (水)	たつごう在宅家族の会	13:30~	肥後医院
18 (水)	1歳児・4歳児・母子歯科相談	13:30~	どうくさあや館
20 (金)	でいでいクラブ	13:30~	
21 (土)	女性がん検診	8:30~9:30	秋名コミュニティセンター
22 (日)		13:00~14:00	浦生活館
25 (水)	おなかスッキリ運動	19:30~	どうくさあや館
27 (金)	でいでいクラブ	13:30~	
	かめのこクラブ	10:00~	
29 (日)	家庭婦人バレーボール大会	8:30~	りゅうゆう館ほか
31 (火)	じゃがいも会	13:30~	赤尾木地区

玉黄金

4月



いじゅういん ゆずき
伊集院 柚季 ちゃん
H 27. 4. 17 生
父 真幸 / 母 亜季 安木屋場



こばやし さき
小林 咲希 ちゃん
H 27. 4. 16 生
父 淳一 / 母 千香子 瀬留



いしはら おうらい
石原 央禮 くん
H 27. 4. 11 生
父 豊 / 母 翠 手広



よしおか ゆうき
芳岡 優輝 くん
H 27. 4. 29 生
父 琢也 / 母 久美子 浦



つねだ しんさく
常田 心朔 くん
H 27. 4. 27 生
父 一喜 / 母 涼香 中戸口

満一歳になりました。この子たちに誇れる町をみんながいつまでもつくりたい。

名瀬在住秋名郷友会

全国各地で活躍されている「龍郷町」の出身者。このページでは、郷里の心を胸に活動する郷友会を紹介します。

ウガミンシヨウラ郷友会

⑦



【会長】
林 康雄
(秋名出身)

名瀬在住秋名郷友会は、昭和26年の復帰前の大変な時期に先輩方の郷土愛により発足されました。郷友会活動への参加者が減少するなか会員数の増員参加に向けて毎年奮闘しております。現在の会員数は、名簿で把握できている世帯数が220世帯で、把握できていない世帯も数多くあり今後は、郷里出身者の二世、三世の会員の方々の参加を募り先輩方が築き上げた郷友会の存続に努めてまいりたいと考えております。

主な活動

6月に敬老総会、8月にあまみ祭



りの八月踊り、10月に八月踊り、11月にはグランドゴルフ大会を計画し会員相互の交流・親睦を図り活動しております。また、郷里の秋名集落の行事等にも参加をして相互の連携を図っております。

龍郷町への想い

私達の龍郷町は、産業、文化、経済面で発展を遂げており「住みよい町」として注目を浴びております。

しかしながら、私の故郷の荒波地区を考えてみますと過疎化や大島紬の不況等により取り巻く環境は大変厳しいものがあると考えます。

町当局におかれましては、今後とも荒波地区の充実・発展に努めていただきますようお願いを申し上げます。

執筆・林 康雄